

8 2026
月号
Vol. 13



お茶くりカフェにて満喫中...

3月28日(土)

お花見





「笑顔花咲く」をテーマにお花見を開催しました🌸
 多くのご家族にご参加いただく事ができ、美味しいお花見
 弁当を囲いながら「元気やったかよ？」等、
 近況を報告し合うようなお話も聞かれていました👂
 また、土佐和太鼓文化研究所「一響館」侍の皆様による
 太鼓演奏もありました。圧巻のパフォーマンスに会場からは
 拍手が沸き起こり、感嘆の声も聞かれていました👏
 桜の開花が少し早く、お花見には満開とまでは行きません
 でしたが、今年も綺麗な桜を堪能する事ができました🎵

外出行事

4月15日(水)
いちご狩り



4月15日(水)
あぐり窪川



7月7日(火)

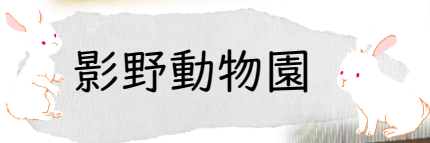
お茶くりカフェ



5月31日(日)
スポーツ大会



影野動物園



イオン高知



ドライブ



まきのさん道の駅



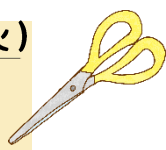
2月26日(木)

レストラン



5月11日(月) 6月2日(火)

高知リハ活動



残存機能を活かして、
やってみたい活動に
挑戦しました♪



毎年、高知リハビリテーション専門職大学 作業療学科生と
授業の一環で関わる機会があります♪
今年度も、数回の授業で来られる予定ですが、
早速5月6月と来られ、参加希望のあったご利用者を対象に
活動を行いました😊
多くの学生との関わりに、会話も弾み、笑顔も多く見られ、
有意義なひと時を過ごすことが出来ました🌸

たけのこ掘り



その他

<オレンジカフェ>



今年度からバージョンアップし、
入り口には看板と旗を
設置して、地域の皆様
のご来店をお待ちしています♪





その人らしい生活を支える

実践を全国へ

2026年7月2日・3日、岡山県で開催された「全国身体障害者施設協議会研究大会」において、生活支援員・下元一将さんと生活支援員・西村浩司さんが実践発表を行いました。発表テーマは「彩りある生活を取り戻すために～その人らしい生活の実現に向けた支援～」です。日々の支援の中で、利用者Aさんの願いと力にどのように向き合ってきたのかを、全国の福祉関係者へ報告してきた内容とどのような評価を受けたかについてお知らせしたいと思います。

▶本人の願いから始まった野菜作り

Aさんは、度重なる入院や褥瘡、経口摂取が難しくなったことなどにより、生活への意欲を失いかけていました。支援を考えるうえで大切にしたのは、病状やできなくなったことだけを見るのではなく、Aさんが望んでいること、得意なこと、これまで大切にしてきたことに目を向けることでした。

本人の意向をくみ取りながら始めた取り組みが「野菜作り」です。Aさん自身が野菜を育て、収穫したものを職員へ提供しました。受け取った職員から感謝される経験は、Aさんが支援を受けるだけではなく、誰かに喜びを届ける役割を担う機会となりました。

野菜作りを続ける中で、生活リズムの確立や離床の促進、新たな意欲の芽生えなど、さまざまな変化が見られるようになり、Aさんの生きがいや自己肯定感につながる大切な要素となりました。本人が持っている力や可能性を引き出し、自分らしい生活へつなげる「※¹エンパワメント」の実践として、支援の意味が広がっていきました。



▶願いと安全の間にある葛藤にも向き合う

一方で、野菜に触れることにより、Aさんの「もう一度、口から食べたい」という願いが強くなる場面もありました。本人の思いを尊重したい気持ちと、病状や安全



面への配慮との間で、支援者にも葛藤が生じました。

この思いを単に困ったことや問題として処理するのではなく、「Aさんらしさの表れ」として受け止めました。希望どおりにできるかどうかだけで判断せず、願いの背景にある思いを大切にしながら、本人と向き合い続けることも個別支援の重要な役割だと感じました。

▶全国場で評価された本人主体の支援

大会の助言者からは、今回の取り組みについて「その人らしさを核としたエンパワメントの実践報告」との評価をいただきました。特に、野菜作りという生産的な役割を本人の意向から提案したこと、感謝される経験を通じて新たな生きがいや自己肯定感につなげたこと、支援の一つ一つを本人主体で計画したことが評価されました。

また、成果だけでなく、経口摂取への願いが強くなったという支援上のジレンマにも丁寧に向き合ったこと、生活リズムや離床、意欲を多角的に捉えて評価したこと、地域社会とのつながりや社会参加へ支援を広げようとしていることについても講評をいただきました。病状の進行やリスクがある中でも、本人が望むことや得意なことを支援の中心に置く姿勢が、地域移行や自立支援の在り方を具体化する実践として受け止められました。

▶まとめ

一人ひとり性格や生活が異なっているように、やりたい事・望んでいる事も人の数だけ存在します。病気になり自分のやりたいことをあきらめてしまう方も多くおられますが、病気になり障害を抱えても、やりたいことができる、自分らしく生きられるようにお手伝いをする事が、私達職員の役割であると思います。

働く上で明成会が大切にしている「本人主体の支援」と「その人らしい生活を支える姿勢」を、今回の発表を機にあらためて見つめ直す機会となったのではないかと思います。今後も関わるご利用者一人ひとりの思いと可能性に丁寧に向き合いながら、生活支援員、看護師、管理栄養士、作業療法士 チーム一丸となり、日々の支援を積み重ねて行くことが大切であると感じました。

※¹その人が持つ強みを最大限に活かせるようにサポートする

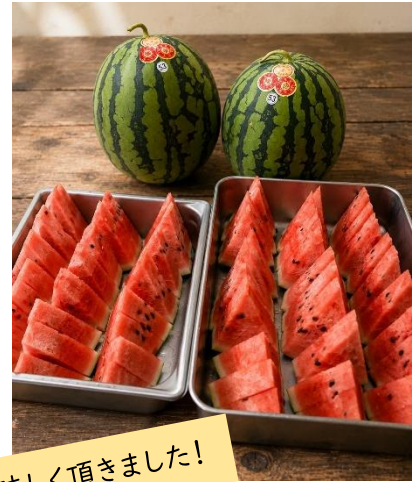
ケアの質の向上や基本に立ち返る為に
毎年、介護技術研修を実施しています。



グローブの使い方、車いすの操作方法を学んでいます

ご利用者のご家族様より

スイカ を頂きました！



とても美味しく頂きました！

ありがとうございました



【 行事予定 】



9 月

オイコニア交流会
外食（道の駅なかとさ）
イオン高知
外食（スシロー）
ピクニック
外食（あぐり窪川）
外食（ロガー）
四万十ふれあい動物園
須崎市巡り
のいち動物園

食堂の机をリメイクしました

【 Before 】



～リメイク中～



【 After 】



10 月

イオン高知
外食（あぐり窪川）
軽食（町内）
外食（はま寿司）
のいち動物園
四万十ふれあい動物園
ピクニック
須崎市巡り
外食（ななこ食堂）

11 月

イオン高知
軽食（町内）
外食（はま寿司）
のいち動物園
四万十ふれあい動物園
ピクニック
須崎市巡り
外食（味覚）

12 月

外食（ななこ食堂）
クリスマス忘年会

※ご家族参加型の外出行事もあります。

その折にはご連絡させていただきますのでご協力の程、宜しくお願い致します。

【お知らせ】

9 月 19 日（土） 12:00～14:30

オイコニア交流会を開催予定です。ぜひお気軽にお越しください。

※詳しくはチラシをご覧ください。

（発行）

社会福祉法人 明成会

障害者支援施設オイコニア

高岡郡四万十町仁井田字倉木 462 番地

電話：0880-22-8382

URL：<https://www.meiseikai-swc.com>